

教科書の特徴

教科書名：EARTHRISE English Logic and Expression I Essential

(104 数研 論 I 104-903)

① 内 容

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容(言語材料・言語使用の状況など)が扱われている。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、表現活動の指示文では英語が用いられている。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフを用意し、適宜活動の支援となるように配慮されている。
- C. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の 2 技能 3 領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に行えるようになっていく。
- D. 多様な観点や立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面や状況を設定することで、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができる構成になっている。

② 構成・分量（単元の配列や特色・分量）： 本資料末尾に CONTENTS を掲載。

A. 全体の構成

- 1. 前見返しでは、各課末 (Goal Activities) のループリック評価表に紐づいた各課の CAN-DO リストが掲載されており、各課で達成すべき目標を 3 領域に分けて提示することで、目標を常に意識しながら学習に取り組めるようになっている。
- 2. Lesson 1～Lesson 14 では、モデルとなる会話文やパラグラフを読んで実際の言語の使用場面をイメージして、文法を習得しつつ、テーマに沿った内容について、英語で表現できる構成になっている。1 課 8 ページ構成で、各課は「Step 1 (導入)」→「Step 2 (文法)」→「Step 3 (活動)」の 3 つのステップに分かれており、英語を使って表現するための力を無理なくステップアップしながら身につけられるようになっている。
- 3. 各ステップは見開き 2 ページ単位で構成されている。学習内容やゴールがひと目でわかるため学習意欲を喚起しやすく、学習者にとって学びやすく指導者にとって教えやすい構成となっている。
- 4. Step 2 では、英語で表現するために必要な文法事項や重要表現を例文とともに学習し、練習問題 (Practice) を通じて学習内容を確認することができる。問題文の多くは各課のトピックに関連しているため、学んだ英文も活用しながら、直後の 2 種類の表現活動 (Express Yourself) に取り組み、学習した内容をすぐにアウトプットに活かすことができる。
- 5. 加えて、文法事項の定着を図れるように、二次元コードを経由して、基本例文の音声や解説動画などが、参考情報として提供されている。
- 6. 「話す」「書く」活動に役立つ解説をまとめた特集ページ How to express yourself ①～⑥が設けられており、各課の活動をする際に参照することができる。
- 7. Extended Activities では、各課で学んだ知識を活用しながら表現活動を行うことができる。イラストで示された状況や設定されたテーマについて、パートナーとやりとりをしたり、クラスの前で発表したりしながら、表現力をみがくことができる。

8. 各課の Grammar for Expressing Yourself で扱った基本例文の一覧を表現のバリエーションを増やすための例文と合わせて Basic Sentences として巻末にまとめており、本課で学習した英文を復習し、英語での表現力を鍛えることができる。
9. 各課のテーマに関連する語句が巻末 Useful Expressions でまとめられており、表現活動をする際に役立てることができるようになっている。
10. 「品詞」「句と節」「いろいろな文」について、Basic Rules for English Expressions でまとめられている。学んだ知識を活かしてペアで活動を行うことを通じて、英語で表現するための基本ルールを身につけることができるようになっている。
11. 後見返しでは、授業中に使える英語表現の一覧が掲載されている。二次元コードを経由して、ペアワークやプレゼンテーションで使われる表現の実演動画を見ることで、生徒が活動をイメージできるようになっている。

B. 各課の構成

1. Step 1 (導入)

- ・ Step 1 では、様々な活動を通してその課での学習準備を行うことができる。各課のテーマに関連する写真の内容に関してペアで簡単なやり取りをする活動、その課での学習事項に触れて到達点をイメージできるモデル文、そしてモデル文を踏まえた簡単な対話練習等の複数の表現活動を通して、無理なく導入をすることができるように配慮されている。

2. Step 2 (文法)

- ・ Step 2 では、英語で表現するために必要な言語の基本事項や重要表現を例文とともに学習し、問題練習を通じて学習した内容を確認することができる構成になっている。
- ・ 表現に必要な文法事項や重要表現がまとめられた Grammar for Expressing Yourself を掲載している。2 見開き (Part 1, Part 2) に分かれて基本例文とコンパクトな文法解説が掲載されており、図解やイラストなどを効果的に用いて視覚的にわかりやすく理解できるようになっている。
- ・ 文法事項や重要表現を確認するための練習問題 (Practice) を掲載している。大問ごとに Grammar for Expressing Yourself の解説項目と対応しているため、文法知識を整理しながら定着を図ることができる。問題文の多くの内容は、各課のトピックに関連したものとなっており、使用されている語彙や表現を、すぐに直下に配置された 2 種類の表現活動 (Express Yourself) をはじめとするさまざまな活動を行う際に活用することができる。
- ・ ページ下部では、帯活動として、学習した文法事項を用いてペアでやりとりの活動を行うことができる。

3. Step 3 (活動)

- ・ Step 3 では、Step 1 と 2 で学んだことを活かしながら、課のゴールとなる表現活動を行うことができる。Task 1 (リスニング問題) → Task 2 (やりとりの活動) → Goal (まとまった文章を書いて発表する活動) の 3 ステップに分かれており、無理なくステップアップしながら授業をスムーズに展開し、Goal の活動を行うことができる。TRY では、各課のテーマに関して、その課で学んだ文法事項や重要表現を活用して取り組むペアやグループで行うやりとりの活動を行うことができる。
- ・ 前見返しで提示した目標 (CAN-DO) の到達度を確認できるチェックリストが設けられており、Step 3 全体を通じた自己評価をすることが可能となっている。

③ 表記・表現 及び 使用上の便宜

- A. Step 1 と Step 3 の活動に関しては、指示文が英語で表記されている。また、後見返しには Classroom English が掲載されており、これらによって英語による授業が進めやすくなるように工夫されている。
- B. Step 2 の問題 (Practice) と表現活動 (Express Yourself) に関しては、指示文が日本語で表記されている。これによって、生徒が確実に学習の指示を理解し、主体的に学習を進められるように工夫されている。
- C. 前見返しに CAN-DO を 3 領域(「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」)別に掲載しており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組める工夫が施されている。
- D. 巻末の Basic Sentences(基本例文一覧)や Useful Expressions(各課の活動で使える表現集)など、円滑な授業展開をサポートすることが可能な各種資料が充実している。
- E. 学習指導要領の内容に関しても、各所において適切な扱いがなされている。

(1) 話すこと [やり取り].

…Step 1 : Before you start... 2, Let's Communicate!

…Step 2 : Express Yourself 2, ページ下部の活動

…Step 3 : Task 2, TRY

…Extended Activities 1, 2

…Basic Rules for English Expressions : Express Yourself

(2) 話すこと [発表]

…Step 3 : Goal

…Extended Activities : Further Activities

(3) 書くこと

…Step 2 : Express Yourself 1

…Step 3 : Goal

(4) 上記の基礎となる「思考力・判断力・表現力等」

…基礎的な文法事項 / さまざまな言語の使用場面・言語の働き / 言語活動

Lesson 1～14 全般

Extended Activities 全般

Basic Rules for English Expressions 全般

【CONTENTS】

課	タイトル	学習事項	
1	Introducing yourself【紹介】	文型	(Part 1) 文の主要素, 文型① (S+V/S+V+C/S+V+O)
			(Part 2) 文型② (S+V+O+O/S+V+O+C) など
2	Visiting Kamakura【週末の過ごし方】	時制(1)	(Part 1) 現在のことを表す, 過去のことを表す
			(Part 2) 未来のことを表す
How to express yourself ① ペアでやりとりをしてみよう		会話の進み方, 特徴など	
3	Climbing Mt. Fuji【旅行】	時制(2)	(Part 1) 現在の時点での完了・経験・継続を表す
			(Part 2) 過去の時点での完了・経験・継続を表す
4	Tao's experiences in Japan【助言・アドバイス】	助動詞(1)	(Part 1) 基本的な助動詞① (can, may, mustなど)
			(Part 2) 基本的な助動詞② (should, had better, willなど)
How to express yourself ② クラスの前で発表してみよう		スピーチの構成, 発表のしかたなど	
5	Belonging to the <i>kendo</i> club【課外活動】	助動詞(2)	(Part 1) 勧誘・提案・願望などを表す表現
			(Part 2) その他の助動詞, 助動詞+have+過去分詞
6	Various sweets containing <i>matcha</i> 【日本文化】	受動態	(Part 1) 受動態の表し方, 受動態のいろいろな形
			(Part 2) 受動態の表現と前置詞, 注意すべき受動態
How to express yourself ③ 英文を書いてみよう		つなぎ表現, 主題と主題文など	
7	Volunteering as a tour guide【ボランティア活動・将来】	不定詞(1)	(Part 1) 不定詞の基本的な用法
			(Part 2) 不定詞の意味上の主語, 原形不定詞の用法
8	Performing at the school festival【学校生活】	不定詞(2)	(Part 1) 不定詞のいろいろな形
			(Part 2) 不定詞を使った慣用表現
How to express yourself ④ パラグラフライティングの基本を学ぼう		パラグラフの基本構成	
9	Eco-friendly restaurants【環境問題】	動名詞	(Part 1) 動名詞の基本的な用法など
			(Part 2) 動名詞のいろいろな形, 動名詞を使った慣用表現
10	Good apps for English learners【勉強・デジタル機器】	分詞	(Part 1) 分詞の形容詞的用法
			(Part 2) 分詞構文
How to express yourself ⑤ 書いた文を推敲・校正してみよう		文章の推敲・校正・修正のしかた	
11	The person I respect most【尊敬する人】	関係詞(1)	(Part 1) 関係代名詞(制限用法)
			(Part 2) 関係代名詞のwhat, 関係代名詞の非制限用法など
12	Interesting festivals and holidays【祭・祝日】	関係詞(2)	(Part 1) 関係副詞(制限用法) など
			(Part 2) 関係副詞の非制限用法, 複合関係詞
How to express yourself ⑥ ディベート・ディスカッションをしてみよう		ディベート・ディスカッションの進め方	
13	My home country, Vietnam【世界の国々】	比較	(Part 1) 原級・比較級・最上級を使った表現
			(Part 2) さまざまな比較表現, 最上級の内容を表す原級・比較級
14	My pet cat【好きなこと・大切なもの】	仮定法	(Part 1) 仮定法過去, 仮定法過去完了, 願望を表す用法
			(Part 2) 仮定法の慣用表現, if節に代わる表現など